


コース58 歴史と自然、空気まで美味しい久保泉を歩く

セカンドウォーク実施コース

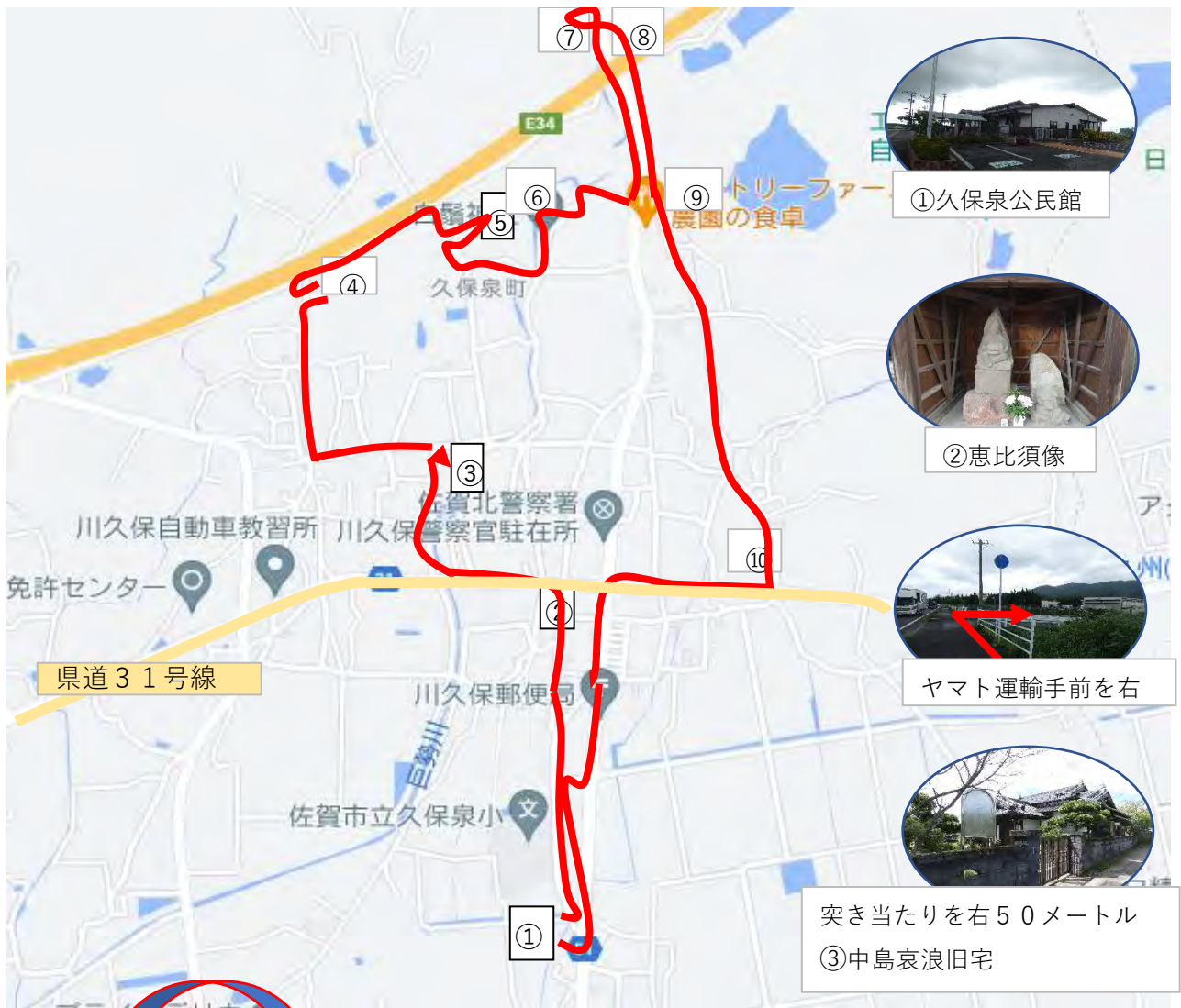
- 起点 久保泉公民館 (☎0952-98-0001)
駐車するときは公民館へ一言かけて下さい。
- 距離 約6.8キロ
- 見所 山内の鷲 神代家にまつわる史跡、白鬚神社、里の路
- 注意点 途中のトイレがないので、スタート地点で済ませる
- コース概略
- ①久保泉公民館 
 - ②宝月寺(川久保宿と恵比寿像)
 - ③中島哀浪旧宅
 - ④松蔭寺(勝茂公娘で神代家五代巴主常利妻の松蔭大姉建立の神代家菩提寺)
 - ⑤神代家御霊屋
 - ⑥白鬚神社(近江国より白鬚大明神の分霊を勧請創建・年代は諸説あり)社の裏鈴隈山を神体山とした歴史、風格ある神社
 - ⑦観音堂(石造十一面観世音菩薩立像 天正13年彫像)
 - ⑧勝宿神社(江戸末期に長崎から棟梁を招き建立・佐賀市の重要文化財)
 - ⑨関行丸古墳(ルート右に見えます)
 - ⑩妙福寺(大日如来像、境内に歌人中島哀浪の歌碑)
 - ⑪ゴール
 - ⑫一足伸ばして 龍田寺(普賢延命菩薩像)

* ② 川久保宿は、当初休憩所程度の宿場が商いの業種も増えて、川久保の中心的役割を果たす宿場町へと発展。コースNo.56の神埼岩田地区からも買い物に来ていた。(現地案内板及び「岩田の歴史」参照)

* ③⑩ 中島哀浪は、若山牧水・北原白州と並ぶ九州三大歌人の一人。自ら創刊した歌誌「ひのくに」の主宰者として数多くの歌人を指導育成し県内、九州歌壇に大きな影響と足跡を残す。代表作のひとつに下記の歌「有名になりたがる世のかたすみにも鳴くこほろぎをわれは聴き居り」等がある。(佐賀県大百科事典・佐賀新聞社より)

* ④⑤⑧ 神代勝利。龍造寺のライバルとして、山内の鷲の異名をもつ。この存在がなければ、佐賀の歴史、ひいては日本の歴史も大きく変わっていたかも。龍造寺に対抗するため、山内の諸城主から乞われ三瀬城主となり、神代大和守武辺朝臣(もののべあそん)勝利と称す。

コース外 えひめあやめ自生南限地・国天然記念物(アヤメ科多年生草木で自生地は限定3月下旬から4月上旬に花咲く、地元の保存会が大切に保護育成)季節外は入れず。帯隈山神籠石も近くにあり。国史跡。県内他に、おつぼ山神籠石。



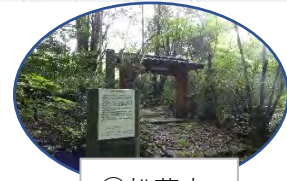
大黒様発見



4つ角右へ



高速道路一つ手前右へ



④松蔭寺



高速道側道先右へ100m



⑤御霊屋



⑥白鬚神社



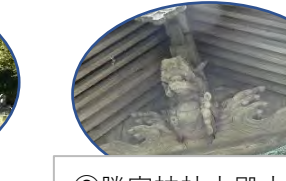
⑥から左へ



橋の先を左へ



⑧勝宿神社



⑧勝宿神社本殿木彫り



⑨関行丸古墳



左折し道なりに



三叉路左へ



⑩妙福寺



川久保信号左へ